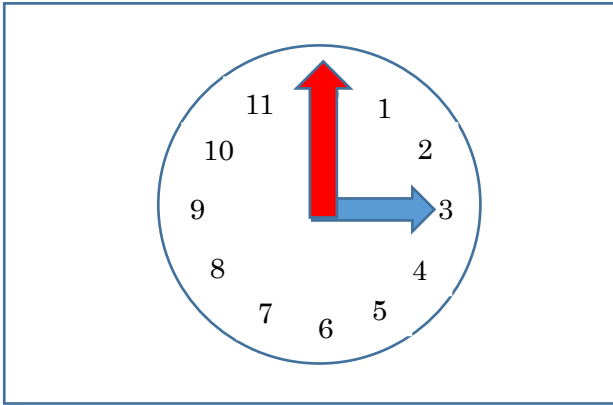


自作教具の活用事例

【作品名】 いま なんじ？	【学校名】 日立市立久慈小学校
【活用できる領域・教科等】 算数・時計の読み方の学習	【制作者名】 鈴木 雄太郎
【制作の意図】 既存の模型を使って学習すると、「時」「分」が混乱することがあった。また、針の取り外しができないことで、「時」「分」を意識付けした練習ができないと感じた。今回の自作教具で、教えるときに児童にとって分かりやすいものが作りたいという思いで制作に至った。	【使用方法】 - 基板に針を刺し、長針と短針をセットする。 1.○時○分の練習 2.○時だけの練習 3.○分だけの練習
【制作上の工夫】 - 針の取り外しができるようにした。 - 針の色分けをすることで、視覚的に理解を促すことができる。 - 軸の部分をつくることで、針が回せるようになる。 - 軸にクリップを使うことで、使用時のケガのリスクを減らした。	【見取り図】 A4 用紙 
【写真】 	【使用効果と応用発展】 長針と短針の色を分けることで、時や分の感覚を身に付けられる。 周りに数字を入れることで、一目で何分かを読み取ることができる。 針を回すことができるように真ん中に棒をさした。用途によって取り外しができる。
【材料・材質・部品等】 - A4 用紙 - セロハンテープ - クリップ - ペン - シール	